

第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成17年10月12日(水) 授業 2

学 級 3年3組 男子19名 女子18名 計37名

場 所 3年3組教室

授業者 教諭 金子美穂

1 単元名 大事なことをたしかめよう 「すがたをかえる大豆・食べ物はかせになろう」

2 単元について

(1) 教材観

第3学年及び第4学年における「C読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」ことである。目標を達成するために、「いろいろな読み物に興味をもち、読むこと。」「イ目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。」「オ目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」という指導事項がある。これを受けて、本単元の目標を「身近な食べ物についての知識を得るとともに、中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読む。」ことと設定した。

本単元「大事なことをたしかめよう」は、説明文教材を段落や大事な言葉に注意しながら読み取る学習と、教材文の内容を参考に自分で調べたいものを選んでそれに関する情報を集めて文章にまとめる学習から構成されている。

「すがたをかえる大豆」は、児童にとって身近な食材、「大豆」について取り上げた文章である。しかし、大豆の加工品は見ただけでは大豆からできているとは分からないものも多く、本教材を読むことにより、児童は驚きと発見の喜びをもって学習できると考えられる。説明文としても3年生の段階にあった文章であり、「ありの行列」で学んだ段落のまとまりにも目を向けやすい。また、段落や文のつながり方を考える接続語も多く登場し、その働きを学習することもできる。

「食べ物はかせになろう」では、読みの学習を通して身に付けた力をもとに、身近な食べ物を選び興味をもった事柄について本や事典で調べ文章にまとめていく学習を展開する。「すがたをかえる大豆」で学んだ文章構成を自分の文章に生かしながら、さらに三段落構成や接続語の使い方などの理解を図ることができる。と考える。

(2) 児童観

児童はこれまで説明文の内容を読み取る活動を通して、段落のつながりをとらえたり中心文を見つけたりする学習をしてきた。

「ありの行列」では段落について知り、順序を表す言葉を手掛かりに文章を正しく読み取る学習を行ってきた。ほとんどの児童が教材に関心をもち、進んで読み進めることができたが、間違った理解をしている児童も見受けられた。読み取る力は個人差が大きいので、話し合いなどで友達の意見や感想を聞くことでより豊かな読みを実現させていきたいと考えている。

語句の理解については、国語辞典の使い方を学習したがまだ使いこなせず、分からない言葉をそのままにして読み進める児童も多いので、辞典を使う機会を増やし意識して使わせるようにしていきたい。

主語・述語に加え、3年生では修飾と被修飾の関係も学習したので、文の構成の理解についてこれからの学習でさらに広がりが見られるものと思われる。

(3) 指導観

単元の導入となる「とらえる」の段階で大豆の実物を配って触らせるなどして、大豆について思いつくことや自分の体験などを十分に話し合わせ、興味、関心を高めてから教材文を提示したいと考える。教材文に関しては、段落に番号をふらせ、段落をより意識させながら読み進めていきたい。

「すがたをかえる大豆」は、大きく3つの部分に分けられるので、初め・中・終わりの段落構成とそれぞれの役割を考えさせたり、各段落において中心となる語を見つけながら、大事なこととそれを支える部分とを区別する力を身に付けさせたりしていきたい。また、段落相互の関係を考える際には接続語に注目させ、その働きと使い方も指導していきたいと考える。

「すがたをかえる大豆」の学習後、チャレンジ学習として「食べ物はかせになろう」という活動を設定し、知りたい情報や大事なところを探して読む力、伝えたいことをまとめる力を育てていきたいと考える。そのために、教材文の段落の構成を参考にしながら、伝えたいことや集めた情報を文章にまとめていく過程を重点的に指導していきたい。

3 単元の指導目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意 欲・態度	身近な食べ物についての知識を得ようとするとともに、 いろいろな食べ物の読み物を探して読もうとする。	・食べ物について書かれた読み物や図鑑などに興味をもって読もうとしている。
書くこと の能力	調べたい食べ物について情報を集め、教材文を参考にしながら、まとめることができる。	・身近な食べ物について、情報を収集し、文章にまとめている。 ・初め・中・終わりの三段落構成で文章をまとめている。
読むこと の能力	中心となる語や文、段落相互の關係に注意して文章を読むことができる。	・中心となる語や文をとらえている。 ・初め・中・終わりという構成を意識して文章を読んでいる。
言語につ いての知 識・理解・ 技能	文章全体における段落の役割を理解することができる。 段落相互の關係を示す接続語について理解し、使うことができる。	・「すがたをかえる大豆」は、初め・中・終わりの三段落構成であることを理解している。 ・接続語の使い方を知り、自分の文章の中で使っている。

4 単元の指導・評価計画(19時間扱い)

段 階	時 間	目 標	主な学習活動 ・・・学習課題 ・・・主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)	具体的評価規準		努力を要する と判断された 児童への具体 的な手立て
					A：十分満足できると判断する 視点	B：概ね満足できると判断する 視点	
と ら え る	1	全文を読み、 大豆についての感想を書くことができる。	大豆はどんな食べ物だろう。 ・大豆の実物に触れる。 ・大豆について知っていることや大豆を使った食品を発表する。 ・全文を読み、初発の感想を書く。 大豆を使った食品について話し合うことで、教材文への関心を高めたい。	大豆について知っていることや大豆を使った食品について発表したり、ノートに書いたりしている。 【関心・意欲・態度】 (発言・ノート)	大豆がどんな食品に変わっているかという観点で、発表したりノートに書いたりしている。	大豆について知っていることを発表したりノートに書いたりしている。	今まで食べたことのある大豆食品を発表させることで関心を高めたい。
	2	教材文の内容の大体を読み、学習計画を立てることができる。	「すがたをかえる大豆」を読んで、学習計画を立てよう。 ・感想をもとに学習課題を立てる。 ・新出漢字を確認する。 ・段落に番号をふる。 ・学習計画を立てる。 段落毎に番号をふり、9段落から構成される文章であることを確認する。	教材文の内容の大体を読み取り、学習課題をつかもうとしている。 【関心・意欲・態度】 (発言・カード)	学習課題が分かり、見通しをもって意欲的に読み進めようとしている。	内容の大体を読み取り、学習課題をつかもうとしている。	大豆がいろいろな工夫により、身近な食品に変わっていることに気付かせる。
ふ か め る	3	大豆の食べ方と食品を書き出して整理しまとめることができる。	大豆はどのような食べ物にすがたを変えているだろう。 ・全文を音読する。 ・大豆からできている食品名に線を引かせる。 ・ワークシートにおいしく食べる工夫と、それによってできる食品をまとめる。 本文中の食品と挿絵や写真を対応させて、理解を図る。	大豆を食べる工夫について、一つ一つの段落を読み、正しく読み取っている。 【読むこと】 (発言・ノート)	大豆からできている食品とその工夫について読み取り、ワークシートにまとめている。	大豆からできている食品を読み取り、ワークシートにまとめている。	本文中の食品と挿絵や写真を対応させて理解を図る。

ふかめる	4	大豆を加工するときの言葉を書き出し、意味を調べることができる。	大豆をおいしく食べるには、どんな工夫があるだろう。 ・大豆を加工するときの言葉を文から探して、ノートに書き出す。 ・意味を調べる。 教科書P27を参考にし、探させる。また、「工夫」という言葉を手掛かりにさせる。	大豆を食べる工夫について、一つ一つの段落を、正しく読み取っている。 【読むこと】 (発言・ノート)	大豆を加工するときの言葉を文から探して意味を調べ、正しく読み取っている。	大豆を加工するときの言葉の意味を調べ、正しく読み取っている。	大豆を加工するときの言葉を一緒に調べ、挿絵と対応させて理解を図る。
	5	全文を、初め・中・終わりに分けることができる。	段落のつながりを考えながら、初め、中、終わりに分けよう。 ・「終わり」の部分から見つける。 ・「初め」と「終わり」の役割について考える。 ・「中」の部分はいくつに分かれているか確認し、どのようなことが書かれているかを確認する。 「このように」「次に」「さらに」などの接続語に注目させる。	接続語に注目して段落構成を読み取り、初め・中・終わりの大きなまとまりを意識して3つに分けている。 【読むこと】 (ノート・観察)	接続語に注目して段落構成を読み取り、初め・中・終わりの大きなまとまりを意識して3つに分け、理由を説明している。	接続語に注目して段落構成を読み取り、初め・中・終わりの大きなまとまりを意識して3つに分けている。	教材文の分け方の具体的な視点を与え、接続語に注目させながら3つに分かれることを理解させる。
	6	それぞれの段落の小見出しを考え、文章の構成を確認することができる。	段落に小見出しをつけよう。 ・初め・中・終わりを考えながら段落に小見出しをつける。 小見出しをつけることで、段落意識を高め、段落相互の関係を押さえさせる。	大豆がいろいろな工夫ですがたを変えていることを読み取り、段落の小見出しを考えて表している。 【読むこと】 (ノート・発言)	初め・中・終わりを考えて小見出しを考え、段落相互の関係を押さえている。	初め・中・終わりを考えながら、段落の小見出しを考えている。	小見出しの例を示しながら、キーワードになる言葉を見つけさせる。
ひろげる チャ	7	筆者が伝えたいことを読み取る。	筆者がみんなに伝えたいことは何だろう。 ・筆者の考えが書いてある段落を探す。 ・終わりの部分を読んで筆者の思いを考える。 大豆についての学習を通して、身近な食べ物や食生活を考える機会としたい。また、「食べ物はかせになるう」の活動の意欲付けとしたい。	筆者の食べ物や先人の知恵に対する思いを読み取ることができる。 【読むこと】 (ノート・発言)	筆者の思いを読み取り、身近な食べ物への関心をもつことができる。	筆者の思いを読み取ることができる。	終わりの部分を読ませ、筆者の考えに線を引かせる。
	8	「食べ物はかせになるう」の全文を読み、本作りへの意欲をもつ。	「3年3組食べ物事典」を作ろう。 ・「食べ物はかせになるう」の全文を読み、調べ学習の流れをつかむ。 ・本での調べ方を知る。 ・新出漢字を確認する。 事典の完成をこの学習のゴールとして位置付け、目的意識をしっかりとたせて活動に取り組ませる。	「食べ物事典」を作ることに関心をもち、「食べ物はかせになるう」を読んでいる。 【関心・意欲・態度】 (発言・観察)	「食べ物事典」を作ることに関心をもち、調べたことをまとめる流れをつかんでいる。	「食べ物事典」を作ることに関心をもち、「食べ物はかせになるう」を読んでいる。	「食べ物事典」の作り方を説明し、関心をもたせる。
	9	調べたい食べ物を決め、調べる計画を立てることができる。	調べる食べ物を決めよう。 ・調べたい食べ物を決める。 米、卵、麦などの材料から選ばせる。 ・何について調べたいのか書き出し、調べることを決める。 種類、栄養、栽培の仕方、食品、食べ方の工夫などの視点を与える。 ・調べる計画を立てる。	調べたい食べ物と調べる事柄を決め、調べる計画を立てている。 【関心・意欲・態度】 (ノート・観察)	調べたい食べ物と事柄を決め、見直しをもって意欲的に調べる計画を立てている。	調べたい食べ物と事柄を決め、調べる計画を立てている。	調べたい食べ物について教師とともに調べる計画を立てる。

		調べる対象に対し、きっかけや理由をはっきりさせ、目的意識をもたせる。				
ひろげ る チャ	10	本での調べ方を知り、目次や索引の使い方を覚える。 本での調べ方をおぼえよう。 ・教科書P30「本で調べる」をもとに、本での調べ方を知る。 ・目次や索引を引く練習をする。 図書館で行い、調べ方を図書館司書にも教えてもらい、理解を深める。	本での調べ方を覚え、調べ方を練習している。 【関心・意欲・態度】 (観察)	本での調べ方を覚え、進んで関心のあることを調べている。	本での調べ方を覚え、調べ方を練習している。	教師とともに目次や索引を引く練習をする。
	11 12	目的に合った図書資料を探し、その中から調べたい事柄を選び出し、分かったことを情報カードに書くことができる。 調べたことを情報カードにまとめよう。 ・図書室で関係のある資料を探し、情報カードにメモする。 情報カードには、調べた日、調べたこと、分かったこと、本の名前などを書かせる。	調べるために必要な本を探して読んでいる。 【関心・意欲・態度】 (観察)	調べるために必要な本を意欲的に探して必要な情報を見つけている。	調べるために必要な本を探し、必要な情報を見つけている。	どんなことを調べたいのか事前に把握し、資料を準備しておく。
チャ	13 14	伝えたいことを考え、情報カードを整理することができる。 伝えたいことを考えて、情報カードをならべかえよう。 ・「すがたをかえる大豆」は3つの部分で構成されていることを確認する。 ・初め...調べたわけ 中...調べたこと 終わり...調べて分かったこと (伝えたいこと) のように段落の構成を考えさせる。 ・「初め」と「終わり」に書くことをきめてから、「中」の部分となる情報カードを並べ替える。 教材文を通して、自分の集めた情報をどのような組み替えていったらよいか見通しをもたせる。 情報カードの動きから子どもの思考過程を把握し、助言する。	大事なことを情報カードに書いている。 【書くこと】 (情報カード)	必要なことを落とさずにカードに書いている。	大事なことをカードに書いている。	教師とともに必要なことを見つけて書く。
チャ	13 14	伝えたいことを考え、情報カードを整理することができる。 伝えたいことを考え、情報カードを整理することができる。 ・「すがたをかえる大豆」は3つの部分で構成されていることを確認する。 ・初め...調べたわけ 中...調べたこと 終わり...調べて分かったこと (伝えたいこと) のように段落の構成を考えさせる。 ・「初め」と「終わり」に書くことをきめてから、「中」の部分となる情報カードを並べ替える。 教材文を通して、自分の集めた情報をどのような組み替えていったらよいか見通しをもたせる。 情報カードの動きから子どもの思考過程を把握し、助言する。	伝えたいことを考え、分かりやすく伝えるために、情報カードをある程度のまとまりに分けようとしている。 【関心・意欲・態度】 (情報カード・観察)	伝えたいことを考え、情報を取捨選択し、関連したカードをまとめている。	伝えたいことを考え、関連したカードをまとめている。	調べて分かったことを短く書かせ、それをもとに情報カードを並べさせる。
本時 2/2 チャ	15 16	初め・中・終わりの三段落構成で文章を書くことができる。 初め・中・終わり考えて文章を書こう。 (初め・終わりは1/2で書く。) ・初め...調べたわけを文章にして下書き用紙に書く。 ・終わり...調べて分かったこと(伝えたいこと)を文章にして書く。 ・中...調べたことについて事柄ごとに段落分けしながら文章にして書く。 ・文と文のつながりを考えて、接続語を選んで使う。 「すがたをかえる大豆」の接続語の使い方を参考にさせ、効果的に使わせる。	初め・中・終わりの三段落構成で文章を書いている。 【書くこと】 (下書き用紙)	接続語を効果的に使い、初め・中・終わりの三段落構成で文章をまとめ、伝えたいことがよく分かるように書いている。	初め・中・終わりの三段落構成で文章をまとめ、伝えたいことが分かるように書いている。	初め・中・終わりに何を書けばよいかを情報カードをもとに個別に指導する。

ひろげ チャ	17	文章を見直し、必要な絵図を整えて作品に仕上げることがができる。	「食べ物事典」を完成させよう。 ・下書きを読み合い、アドバイスし合う。 ・題名を決め、清書する。 ・必要に応じて絵図を入れる。 難しい言葉は、辞典で調べて書き換えたり、説明を付けたりさせる。	文章を見直し、友達と話し合いながら書き直したり、絵図を入れたりしている。 【書くこと】 (清書用紙)	説明文の書き方に注目して、友達にアドバイスしたり、自分の作品を書き直したりしている。	友達とアドバイスし合いながら、書き直したり、絵図を入れたりしている。	友達にアドバイスされたことを教師とともに考え書き直す。
	19	友達の作品を読み合い、感想を話し合うことができる。	「食べ物事典」の発表会をしよう。 ・友達の本を読み、付箋紙に感想を書いて貼り付ける。 ・学習活動の感想記入をする。 友達への感想は、文章の内容と書き方に注目させる。	相互評価をし、説明的文章の書き方について自分の考えを深めている。 【関心・意欲・態度】 (付箋紙・感想カード)	文章の内容と書き方に注目して、よりよい説明文となるように感想を書いている。	文章の内容と書き方に注目して、感想を書いている。	友達の作品のよさを見つけさせる。

チャ...チャレンジ学習

5 本時の学習(16/19)【チャレンジ学習】

(1) 目標

「すがたをかえる大豆」の文章構成を参考にしながら、段落を意識して文章を書くことができる。

(2) 基礎・基本とのかかわり

「すがたをかえる大豆」の学習では中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、大豆を食べる工夫を正しく読み取る学習を行ってきた。これは、第3学年及び第4学年における「C読むこと」の「イ目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要ところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」という目標の内容にあたるものである。そのモデル学習をもとに本単元のチャレンジ学習のねらいを次の3点と考えた。

教材文の読み取りを生かし、段落を意識した「書く活動」を行うことにより、初め・中・終わりの三段落構成をとらえる力を確かなものにする。

段落を構成する上で大切な役割をもつ接続語を文章中で用いることで、接続語への理解を深める。

調べ学習を通して、いろいろな資料の中から知りたい情報や大事な部分を探して読む力を養う。

(3) 本時の指導にあたって

これまでに、「食べ物事典」を作るために自分の課題にそって調べ学習を進めてきており、「すがたをかえる大豆」から学んだ三段落構成を参考にしながら情報カードを整理している。

本時は、初め・中・終わりを考えて文章を作っていく2時間の活動の2時間目である。前時に、「初め」と「終わり」について文章を書いており、本時は、「中」の部分の文章を書いていく活動を行う。

「中」の部分は、調べた事柄ごとに段落を作りながら書いていくが、資料に書いてある言葉をそのまま使うのではなく、自分の言葉に置き換えて説明できるように指導していきたい。また、段落の関係を考えて接続語も選んで活用させていきたい。難しい言葉は、国語辞典を引かせるようにし、国語辞典の使い方にも慣れさせていきたい。

さらにその後、学び合いの場で書いた文章を発表させ、友達のよさを文章の内容に加えて段落の分け方、接続語の使い方などの視点で見つける話し合い活動を行う。この学び合いから友達のよさを自分の作品に生かすようにしていきたい。

(4) 展開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備・資料
とらえる 3分	1 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">はじめ・中・終わりを考えて文しょうを書こう。</div>	・前時までの学習を想起させ、学習課題を把握させる。 ・前時までに、情報カードの並べ替えをし、自分の文章の構成の見通しをもたせておく。	情報カードの整理シート

<p>ふかめる</p> <p>37分</p>	<p>2 課題解決のための見通しをもち、本時の言語活動を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P27を読み、説明的文章の構成(初め・中・終わり)と役割を確認する。 ・本時は、中の部分を書くことを確認する。 ・接続語の効果的な使い方を確認する。 <p>3 自分の力で学習課題の解決を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報カードをもとに、調べたことを段落分けしながら文章に書く。 ・分からない言葉は国語辞典を引き、分かりやすい文章に置き換える。 ・接続語を意識して使う。 ・早くできた児童は、挿絵を描く。 <p>【評価規準 Bの例】</p> <p>(はじめ) 米から作られる食品には、どんなものがあるか知りたかったので、調べてみようと思いました。</p> <p>(中) みんながよく知っているもちや、もち米をむして、うすときねを使ってついて作ります。もちを小さく切ってかんそうさせ、やいたり油であげたりすると、あられになります。</p> <p>米をこなにして作る食品もあります。だんご・大福・白玉などは、こなに水を入れてねり、ゆでたりふかしたりして作ります。</p> <p>(終わり) 調べてみると、米から作られる食品は、たくさんあることが分かりました。</p> <p>4 書いた文章を発表し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の書いた作文を紹介する。 ・友達のよさを、文章の内容に加えて段落の分け方、接続語の使い方などの視点で見つける。 	<p>・「すがたをかえる大豆」の文章構成を振り返り、初め・中・終わりにどんなことを書けばよいか確認させる。</p> <p>初め ...調べたわけ 中 ...調べたこと 終わり ...調べて分かったこと (伝えたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続語の意味を確認し、文章の中で積極的に使わせる。 ・一つの事柄を一つの段落に書かせるようにし、より段落を意識させる。 ・資料を写すのではなく、自分の言葉に置き換えて書くように助言する。 <p>【評価規準】 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初め・中・終わりの三段落構成で文章にまとめている。 <p>(下書き用紙)</p> <table border="1" data-bbox="836 920 1289 1429"> <thead> <tr> <th colspan="2">具体の評価規準</th> <th rowspan="2">努力を要すると判断された児童への具体的な手立て</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接続語を効果的に使い、初め・中・終わりの三段落構成で文章をまとめ、伝えたいことがよく分かるように書いている。</td> <td>初め・中・終わりの三段落構成で文章をまとめ、伝えたいことがよく分かるように書いている。</td> <td>初め・中・終わりに何を書けばよいかを情報カードをもとに個別に指導する。</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の文章のよさや気が付いたことを付け加えさせる。 ・早く進んでいる児童に発表させ、作業の遅れ気味な児童への支援とする。 	具体の評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	A	B	接続語を効果的に使い、初め・中・終わりの三段落構成で文章をまとめ、伝えたいことがよく分かるように書いている。	初め・中・終わりの三段落構成で文章をまとめ、伝えたいことがよく分かるように書いている。	初め・中・終わりに何を書けばよいかを情報カードをもとに個別に指導する。	<p>「すがたをかえる大豆」の構成図</p> <p>モデルとなる作文</p> <p>国語辞典</p> <p>実物投影機</p> <p>プロジェクター</p>
具体の評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て									
A	B										
接続語を効果的に使い、初め・中・終わりの三段落構成で文章をまとめ、伝えたいことがよく分かるように書いている。	初め・中・終わりの三段落構成で文章をまとめ、伝えたいことがよく分かるように書いている。	初め・中・終わりに何を書けばよいかを情報カードをもとに個別に指導する。									
<p>ひろげる</p> <p>5分</p>	<p>5 自分が書いたところまで声に出して読む。</p> <p>6 本時の自己評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学習を振り返り、次時の学習への意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品を見直し、学び合いで見つけた友達のよさを自分の作品に生かす場としたい。 ・本時の学習について振り返らせ、自己評価させる。 	<p>振り返りカード</p>								

(5) 板書計画

食べ物はかせになろう

はじめ・中・終わりを考えて、文しよ
うを書こう。

何を書くか

はじめ

・調べたわけ

中

・調べたこと

終わり

・調べて分かったこと
(伝えたいこと)

どのように書くか

「すがたをかえる
大豆」の構成図

モデルとなる作文

接続語を使おう

「すがたをかえる
大豆」に出てきた
接続語